７　おらがたあきてん

おらがたかしだし　　　　　　　　　貸出　田中

　新しい年度が始まりました。５月には元号が令和となり、

なんと今年は新札も発行されるようです。

元号が変わるというのは、新しい年を迎え、身が引き締まるような感じです。何か新しいことを始めようかなと思っています。

「全国の書店員が選んだ　いちばん！売りたい本　2019年本屋大賞」が４月9日発表され、今年度の本屋大賞に「そして、バトンは渡された」瀬尾まいこ（文藝春秋）が決まりました。

血の繋がらない親の間をリレーされ、４回も名字が変わった森宮優子、１７歳。だが、彼女はいつも愛されていた。身近な人が愛おしくなる、著者会心の感動作。

点字版、デイジー版ともに貸出できます。

　私の孫たち三人娘は春休みでした。そこで、春休み企画として、電車を乗り継いで由利本荘市の「木のおもちゃ美術館」へ行くことにしました。

春休み企画、題して「春休み冒険隊　木のおもちゃ美術館に行こう」

　隊員は　長女３年生、次女１年生、三女４歳　ばあちゃんである私の４名。

隊長は長女で案内係り、副隊長は次女で駅の時刻係り、三女はがんばれと言う係り、ばあちゃんは見届け係り。場所、駅の名前や時刻、料金など計画表を作成させ、首からさげて、いざ出発です。駅で切符を買うのも子供たちですが、周りの方たちに迷惑が掛からないよう先にばあちゃんが子供たちだけで購入させることを駅の方にお願いしました。

　　首から計画表をぶら下げているので、駅の係員や電車を待っている大人に声をかけていただき、３人で一所懸命に説明している姿がかわいかったばあちゃんです。木のおもちゃ美術館も大変楽しく時間の許す限り遊びました。帰りも任務を全うし、全員満足して帰りました。帰ってからどうだったか聞いたら、4歳の三女が「すごくキンチョーした！」と言っているので、ばあちゃんは「ハアー？あなたは頑張れという係りでしょ？なぜ緊張するの？」三女、「お姉ちゃんたちがきちんとやれるかドキドキした」そうです。なるほど。

　今月号から少しですが、点図だよりが変わりしました。

岩田、佐田、田中が担当することになりました。

どの様な形が皆さんにとって、わかりやすく、親しみやすいのか、暗中模索の状態です。

皆さんのお力を拝借しながら進めたいと考えています。どうか遠慮なくご意見をお寄せください。